

市民経済委員会委員長報告書

平成 27 年 10 月 6 日

市民経済委員会に付託されました議案 2 件の審査につきまして、審査の過程における各委員からの討論及び審査結果について、審査経過順にご報告します。

初めに、議案第 67 号「平成 26 年度流山市 国民健康保険特別会計 歳入歳出決算認定について」申し上げます。

本案は、保険給付費等の増加により歳入歳出とも前年度を上回り、歳入総額 163 億 4 千 601 万 9 千円に対し、歳出総額は 161 億 6 千 116 万 4 千円となり、差し引き 1 億 8 千 485 万 5 千円の実質収支額となりましたが、地方自治法及び流山市国民健康保険財政調整積立基金の設置、管理及び処分に関する条例の規定に基づき 2 千万円を同基金に積み立て、残額の 1 億 6 千 485 万 5 千円を平成 27 年度へ繰り越した国民健康保険特別会計決算の認定を求めるものです。

審査の過程における討論として、

- 1 2 点要望し、賛成の立場で討論する。

高齢化と医療技術の高度化により医療費が増大し、非常に厳しい状況にある本市国民健康保険の決算は、保険料が軽減措置により前年度比微減である一方、収納率は県内 1 位であ

り、収納率の向上に努め、ジェネリック医薬品の使用促進、レセプト点検強化による医療費適正化を実施したことは、評価できる。しかし、今後も医療費の増大が想定されることから、2点要望し、賛成とする。

- 1 インフルエンザの流行等、非常時に備え基金の積み立てに努めること。
- 2 特定健康診査の受診率の向上やジェネリック医薬品の利用促進により医療費の抑制に努め、健全な財政運営に努めること。

- 2 1点要望し、賛成の立場で討論する。

本市の被保険者数は減少傾向にある一方で、前期高齢者が増加し、高齢化が進んでいる。医療給付費は100億円を超え、一般会計からの繰入金も年々増加している。

今後も高齢化が進むと推計されており、特定健康診査の受診率を向上させると共に早期発見・早期治療により、医療給付費の圧縮に努められるよう要望し、賛成とする。

- 3 2点要望し、賛成の立場で討論する。

平成26年度決算は、前期高齢者の増加や高額な高度医療費により、一般会計から法定外で4.1億円繰り入れており国保財政の厳しさが現れているが、収納率と不能欠損額共に

大幅に改善した結果、被保険者数が前年度比減少したものの収入は増加しており、職員の努力を大いに評価する。財政改善を求め、2点要望し、賛成する。

- 1 国保財政立て直しという大きな課題に対処するため、組織を一元化すること。
- 2 医療費の増加は一部署のみで解決できるものではなく、生活習慣病対策の取り組みを充実させ、市民への協力を求めること。

がありました。採決の結果、全会一致をもって、認定すべきものと決定しました。

次に、議案第66号「平成27年度 流山市 国民健康保険特別会計補正予算（第1号）」について申し上げます。

本案は、平成26年度決算の確定及び国民健康保険療養給付費等負担金の確定に伴う精算還付金の追加など、所要の補正を行うもので、既定の歳入歳出予算総額に歳入歳出それぞれ1億5千485万5千円を追加し、予算総額を185億1千802万3千円とするものです。

審査の過程における討論は特になく、採決の結果、全会一致をもって、可決すべきものと決定しました。

以上で市民経済委員会の委員長報告を終わります。